



# 飯田市立病院ニュース

飯田市立病院・高松分院広報

編集・発行／飯田市立病院広報編集委員会 〒395-8502 長野県飯田市八幡町438番地  
TEL●飯田(0265)21-1255(代) FAX●飯田(0265)21-1266 http://www.imh.jp.

## 医療機関の機能分担を目指して

Ⅱ地域医療支援病院取得に向けた取り組みⅡ

現在、地域医療支援病院は、全国で五十病院ほどが承認されていて、救急医療や高度医療に対応できる医師の配置や施設整備が必要とされています。

更に、紹介患者さまに対する医療の提供や医療機器の共同利用などを重視した制度でもあり、その承認を受ける上では、かかりつけ医の先生方との役割分担と連携も、欠くことのできないこととなっています。

国の整備方針を受け、長野県としても「二次医療圏（飯田下伊那地域）」に一ヶ所以上設置する構想となっていますが、飯田市立病院では地域の医療機関との連携と協調により、この「地域医療支援病院」の取得を目指します。

飯田下伊那地域内における医療の質の向上により、地域内医療の完結を目指す当院の取り組みに対し、患者様をはじめ、関係する皆

様方のご理解をお願いいたします。

**地域医療支援病院の機能(条件)**

- 原則200床以上の病床を有すること
- 医療法上の施設整備の要件
- 救急医療の提供
- 紹介患者に対する医療提供と逆紹介
- 施設・設備の共同利用(開放型病床と登録医制度)
- 地域医療従事者に対する研修
- 病院以外の学識経験者等による委員会の設置など

### 《機能分担とサービス向上のために》

●「かかりつけ医」による受診を推進しています。

日常的な病気の治療や相談ができる、いわゆる「ホームドクター」をお持ちになつてください。

●地域内の先

**かかりつけ医を持ちましょう**

飯田市立病院では、「かかりつけ医」の先生方との医療連携を積極的に行っております。当院での治療が完了したときや、病状が安定したときは「かかりつけ医」の先生に診ていただくことをおすすめしています。

●かかりつけ医をお持ちになると、飯田市立病院を上手にご利用ください●

**かかりつけ医**  
治療が完了したときや、病状が安定したときは「かかりつけ医」の先生に診ていただくことをおすすめしています。(医師より紹介状をいただきます)

**緊急医療科**  
専門的医療科(外科、内科、小児科)の医師が常駐し、24時間体制で応じます。また、救急車による搬送・治療を行います。特に緊急性の高い病状や、急性心不全等の病状に迅速に対応します。

**救急科**  
救急搬送された患者様の治療を行います。また、救急車による搬送・治療を行います。特に緊急性の高い病状や、急性心不全等の病状に迅速に対応します。

**救急診療科**  
救急搬送された患者様の治療を行います。また、救急車による搬送・治療を行います。特に緊急性の高い病状や、急性心不全等の病状に迅速に対応します。

(かかりつけ医をお持ちになること、初診時の紹介受診をおすすめしています。)

生方との情報の交換により、紹介受診制度の充実に力を入れるとともに、退院後の早期復帰などに向けて、関係機関との連携を強化しています。

●初診の方も、ご紹介患者さまであれば、できる限り予約受診いただけるような体制を整えています。

●正確な情報や診断精度の向上のために、電子カルテによる運用を行います。

●患者さまに対するサービス向上の一環として「よろず相談窓口」を開設いたしております。

※関連事項(登録医制度)を二面に掲載しました。

【地域医療部】

## 話題の広場より

- 高校生の一日看護師体験  
=多数の希望者の中から19名=
- 災害救急医療マニュアルに基づく訓練より  
=職員の動きも再点検=  
想定検証により問題事項の修正や対応も検討



災害などの緊急事態に備えて

# お知らせ 病院のうごき

## 登録医制度も 実施予定です

「かかりつけ医」の先生方が当院の医師として、一緒に患者さまの診察ができる「登録医制度」を導入します。

県内の地域医療支援病院ではこの制度により、入院中であっても、患者さまが診療所の先生方の治療や相談を受けることができるようになります。

より安心して入院治療などができる体制を整えるもので、希望すれば、退院後の相談や治療計画を「かかり

## 登録医制度の運用(案)

- ① 開放型病床や高度医療機器の共同利用
- ② カルテの閲覧と開放型病床における共同指導(診療)
- ③ 症例検討会(各種研修会)への参加や関係職員の研修派遣
- ④ FAX、電話、印刷機器等院内事務機器の利用
- ⑤ 図書室や会議室などの施設利用
- ⑥ 介護保険制度や社会福祉制度等の利用における相談業務などです。

患者さまは、かかりつけ医と当院医師の連携で、今まで以上に安心して治療いただくことができます。

## 病院ホームページを 充実させます

「かかりつけ医」の先生方と当院主治医が一緒に行うことができるようになります。

民間の調査では、長野県におけるパソコン所有世帯は七十二パーセント、インターネット利用世帯は四十二パーセントを占め、今後とも増え続けることが予想されます。このような状況の中、飯田市立病院の情報発

信源として「ホームページ」以下HPが重要となってきました。

現在の病院HPは八年前に開設し、職員の手作りで更新を続けてきました。その間、患者さまを中心に各方面の要望を取り入れてきたため、わかりにくい構成になってきています。そこで、現在の構成を全面的に見直し、「ほしい情報を簡単に取り出せる」をモットーに新しいHPを作成中です。

なお、ご意見・ご要望などございましたらinfo@imh.jpまでお寄せ下さい。

### 【情報管理係】

ほしい情報を簡単に取り出せることをモットーに、専門家の力も借りて作成中です。

現在作成中です

ご意見ご要望をお寄せ下さい

(現在のホームページ)



## 「総合窓口おたっしや」 開設しました

＝高松分院＝

分院敷地内にありました、高松分院相談室・ゆうゆう事務室(上郷介護老人保健施設)・高松訪問看護ステーション・上郷在宅介護支援センターの四つの事務所を「総合窓口おたっしや」として、ひとつのフロアーにしました。分院入院相談・ゆうゆう入所相談・医療福祉相談・在宅介護看護相談をひとつの窓口でお受けできるようにしました。皆さんに気軽に相談に立ち寄っていただける運営してまいりますのでよろしくお願ひします。



(8月の開設セレモニー)

## 高校生19人 一日看護師体験行われる



去る8月7日、当院にて高校生による一日看護体験が行われました。多数の希望者の中から人数を絞り、当日は19名の高校生が出席し、看護師の業務を見学・体験しました。

今回は、病棟における業務に携わり、環境整備・リハビリの送迎・清拭などを体験しました。時折、患者さんから「看護師さん」と呼び止められる場面もあり、恥ずかしそうに少し戸惑った様子で話をしている姿も見受けられました。

今回の体験により、看護師はイメージどおり「忙しい」と感じた高校生も多くいたことと思います。体験者の中から、看護とは全てを

「してあげる」というイメージから、「できないところを手助けし、自立を助ける」というイメージに変わったという声も聞かれました。短い時間の中ではありましたが、様々なことを体験し、感じる事ができたことと思います。私自身も高校生を通して貴重な一日を過ごすことができました。

【看護部 矢澤麻美】



## 話題の広場



## 冷蔵庫付き床頭台の導入

平成15年7月末から、病室のベッドサイドにある床頭台が冷蔵庫付きに変更になりました。ドアについた籠に物が入れられるので、奥まで手を伸ばさずに取り出すことができます。今まで室温

保存であった為、暑い時期などご不便な事もあったかと思えます。少しでも快適な療養生活を過ごしていただけるように利用していただきたいと思えます。

【看護部】

## 災害救急医療マニュアルシミュレーション訓練



飯田市立病院は「災害拠点病院」であり、災害や大事故の発生時には医療の拠点となり、負傷者などを積極的に受け入れなければならないとされています。

大災害や大事故が発生し、通常の範囲を超えた人数の負傷者などが運ばれた緊急事態において、医療体制の確立のみならず、患者、家族の誘導や報道対応までどうあるべきかという観点から、災害救急医療マニュアルが制定されています。

毎年、このマニュアルにより現場の事故などを想定した訓練を実施していますが、本年は去る9月22日に実施しました。

想定内容は「休日の午後、昼神温泉付近で、多重衝突事故が発生し、複数の負傷者の受入を当院に要請された。」とするもので、本部の立上げから患者と職員の動きを再確認し、問題事項の修正や対応などを検討するものですが、今回の訓練を通して、「スタッフがいかに早く集まり、救急医療体制が取れるかが重要である。」ことを、あらためて認識しました。

【救急医療委員会】



## 保険証類の提示をおわすれなく

月一回は、保険証・受給資格者証の提示をお願いします。保険診療は、病院の窓口で現在加入中の保険証等を提示することによって受けられます。資格確認のため、初診の診察を受ける方、継続受診の方は月に一回、必ず窓口での確認を受けるようお願いいたします。

なお、資格や内容等に変更があった場合は早めに窓口への提示をお願いします。

【医事課】



## 知ってて安心 介護保険のポイント①

介護保険の訪問介護サービスに、病院へ通院するための介護タクシーの「通院等乗降介助」が加わりました。一回の乗り降りの介助費用が千円（利用料は介護保険を利用すると一割負担として百円）になりました。

例えば、飯田市立病院までのタクシー料金が片道千円かかる患者さんは、往復で二百円の負担で済みます。

また訪問介護の資格を持った運転手が介護者の乗り降りを応援しますので、介護負担が軽減されることとなります。

詳しくは当院在宅介護支

シリーズ

## 患者会

その4



### 心臓疾患患者の会 「ハートの会」

堤本 伊那人

私たち「ハートの会」は、平成7年12月に会員数85名で発足しましたが、8年を経過した現在では、会員数も280余名を数えるまでになり、飯田市立病院の患者会の中では最も多い会員であると思います。

これだけ会員が多いにも関わらず、外科の担当先生や看護スタッフの皆様のご協力により、その生綱としてお互いが手をつなぎ、和を持った会とし活動できていることは大変うれしく思っています。

活動の内容は、定期総会の他に年間で2回から3回の親睦会を開催し、交流と健康維持を兼ねたレクリエーションやマレットゴルフ大会、講演会などを行っています。

心臓疾患という、共通の病を持つもの同士が、ともに励まし合い、明日に向かって生きるために、今後も手を取り合い、その生綱として支え合えるような活動を続けたいと考えております。

援センター、または各ケアマネージャーにお問合せください。

【在宅介護支援センター】



## 新任医師の紹介

平成15年7月～9月



内科  
いしかわ まりこ  
**石川 まり子**  
平成12年卒業  
平成15年7月1日着任  
前勤務病院：  
健和会病院



耳鼻咽喉科  
つかもと こうじ  
**塚本 耕二**  
平成6年卒業  
平成15年7月1日着任  
前勤務病院：  
信州大学医学部附属病院



眼科  
こだま しんや  
**児玉 真也**  
平成14年卒業  
平成15年7月1日着任  
前勤務病院：  
信州大学医学部附属病院



外科  
きたざわ まさと  
**北沢 将人**  
平成13年卒業  
平成15年7月1日着任  
前勤務病院：  
飯山赤十字病院



産婦人科  
まさき ちほ  
**正木 千穂**  
平成12年卒業  
平成15年7月1日着任  
前勤務病院：  
厚生連北信総合病院



高松分院  
ほり しんいちろう  
**堀 真一郎**  
内科  
平成15年8月1日着任



放射線科  
おおや あゆみ  
**大彌 歩**  
平成14年卒業  
平成15年7月1日着任  
前勤務病院：  
信州大学医学部附属病院



整形外科  
かみじょう てつよし  
**上條 哲義**  
平成14年卒業  
平成15年7月1日着任  
前勤務病院：  
信州大学医学部附属病院

## 編集後記

去る八月より飯田市立病院では院内全面禁煙となりました。現在敷地内で喫煙できるのは正面玄関バス停の喫煙所と、地下サービスマン喫煙所のみとなっています。何を隠そう筆者も「愛煙家」の一人です。昨今の「分煙」の流れに肩身の狭い思いをしておりますが、なにより「喫煙しない方」に迷惑をかけることが大切だと感じております。病院を訪れる方で喫煙される方にはご不便をおかけしますがご協力をお願い致します。

【編集委員会 伊藤健一郎】